

| | |
|-------------------------------------|--|
| 科目名 | ウィメンズヘルス看護学演習Ⅱ Seminer on women's health nursing Ⅱ |
| 授業形態 | 演習 |
| 標準履修年次 | 1年次 |
| 実施学期・曜時限等 | 秋学期 AB 金曜日 3・4限 |
| 実施場所 | 共同利用棟B107 |
| 単位数 | 2単位 |
| 担当教員名 | 川野 亜津子 Atsuko Kawano 岡山 久代 Hisayo Okayama 金澤 悠喜 Yuki Kanazawa |
| ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA) | なし |
| オフィスアワー等 | オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡をしてから訪問すること 川野亜津子 AKAWANO@md.tsukuba.ac.jp 岡山久代 okayama@md.tsukuba.ac.jp 金澤悠喜 ykanazawa@md.tsukuba.ac.jp |
| 授業の到達目標 (学習成果) | (1) 思春期から更年期の発達課題にそった健康支援に関する看護研究論文をクリティークし、研究の意義・限界・課題を明確にし、発表することができる (2) 各研究テーマにおける先行研究についてレビューし発表できる (3) 自分の研究テーマの意義および位置づけを明確にでき、適切な研究方法を選択できる (4) 研究計画書を作成し発表できる (5) 他の学生の発表内容を理解し、各自が向上するための質問や討論ができる |
| 他の授業科目との関連 | 助産師教育課程履修者は必修 |
| 履修条件 | なし |
| 授業概要 | 思春期から更年期の発達課題にそった健康支援における最新の研究内容および水準を理解し、実践科学として意味のある研究計画を作成する能力を修得する |
| キーワード | 文献レビュー Literature Review 助産学 Midwifery 周産期ケア Perinatal Care |
| 授業計画 | 1 授業ガイダンス(川野) 2 思春期の健康支援に関する研究論文のクリティークⅠ(岡山) 3 思春期の健康支援に関する研究論文のクリティークⅡ(岡山) 4 性教育に関する研究論文のクリティークⅠ(岡山) 5 性教育に関する研究論文のクリティークⅡ(岡山) 6 周産期における健康逸脱への健康支援に関する研究論文のクリティークⅠ(岡山) 7 周産期における健康逸脱への健康支援に関する研究論文のクリティークⅡ(川野) 8 不妊および不妊症の健康支援に関する研究論文のクリティークⅠ(川野) 9 不妊および不妊症の健康支援に関する研究論文のクリティークⅡ(川野) 10 更年期にある女性への健康支援に関する研究論文のクリティークⅠ(川野) 11 更年期にある女性への健康支援に関する研究論文のクリティークⅡ(川野) 12 思春期、性教育、思春期の健康逸脱、不妊、更年期に関する包括的文献レビューⅠ(金澤) 13 思春期、性教育、思春期の健康逸脱、不妊、更年期に関する包括的文献レビューⅡ(金澤) 14 思春期、性教育、思春期の健康逸脱、不妊、更年期に関する包括的文献レビューⅢ(金澤) 15 思春期、性教育、思春期の健康逸脱、不妊、更年期に関する包括的文献レビューⅣ(金澤) 16 思春期、性教育、思春期の健康逸脱、不妊、更年期に関する重要概念の分析Ⅰ(金澤) 17 思春期、性教育、思春期の健康逸脱、不妊、更年期に関する重要概念の分析Ⅱ(岡山) 18 思春期、性教育、思春期の健康逸脱、不妊、更年期に関する重要概念の分析Ⅲ(岡山) 19 思春期、性教育、思春期の健康逸脱、不妊、更年期に関する重要概念の分析Ⅳ(川野) 20 まとめ:これまでの授業から研究計画書の作成へ(川野) |

| | |
|-------------------------|---|
| 学修時間の割り当て及び授業外における学修方法 | 自らの研究について教員や学生同士での討論を常に行い、想像力、自立心を向上させる |
| 成績評価方法 | <p>講義の2/3以上の出席を以て評価を受けることができる 授業の到達目標の達成状況60%, 授業内での発表内容・参加状況40%</p> <p><評価基準> 評価の視点は以下のとおりである</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 適切な問題を設定できる 2 設定した問題の背景を説明できる 3 設定した問題に対してどのような課題があるのかを指摘できる 4 その解決策について、先行研究がどのように述べているかを挙げるができる 5 既存の意見をふまえて、自らの考えを述べるができる <p>上記に対応した評価基準は以下のとおりである</p> <ul style="list-style-type: none"> A+ 上記1～7を自身で達成できる A 上記1～7をほぼ自身で達成できる B 上記1～7を教員の指導を受けながら達成できる C 上記1～7を教員の指導を受けながら概ね達成できる D 上記1～7について教員の指導のもとでも達成できない |
| 教材・参考文献・配布資料等 | 特に定めない |
| その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等) | |